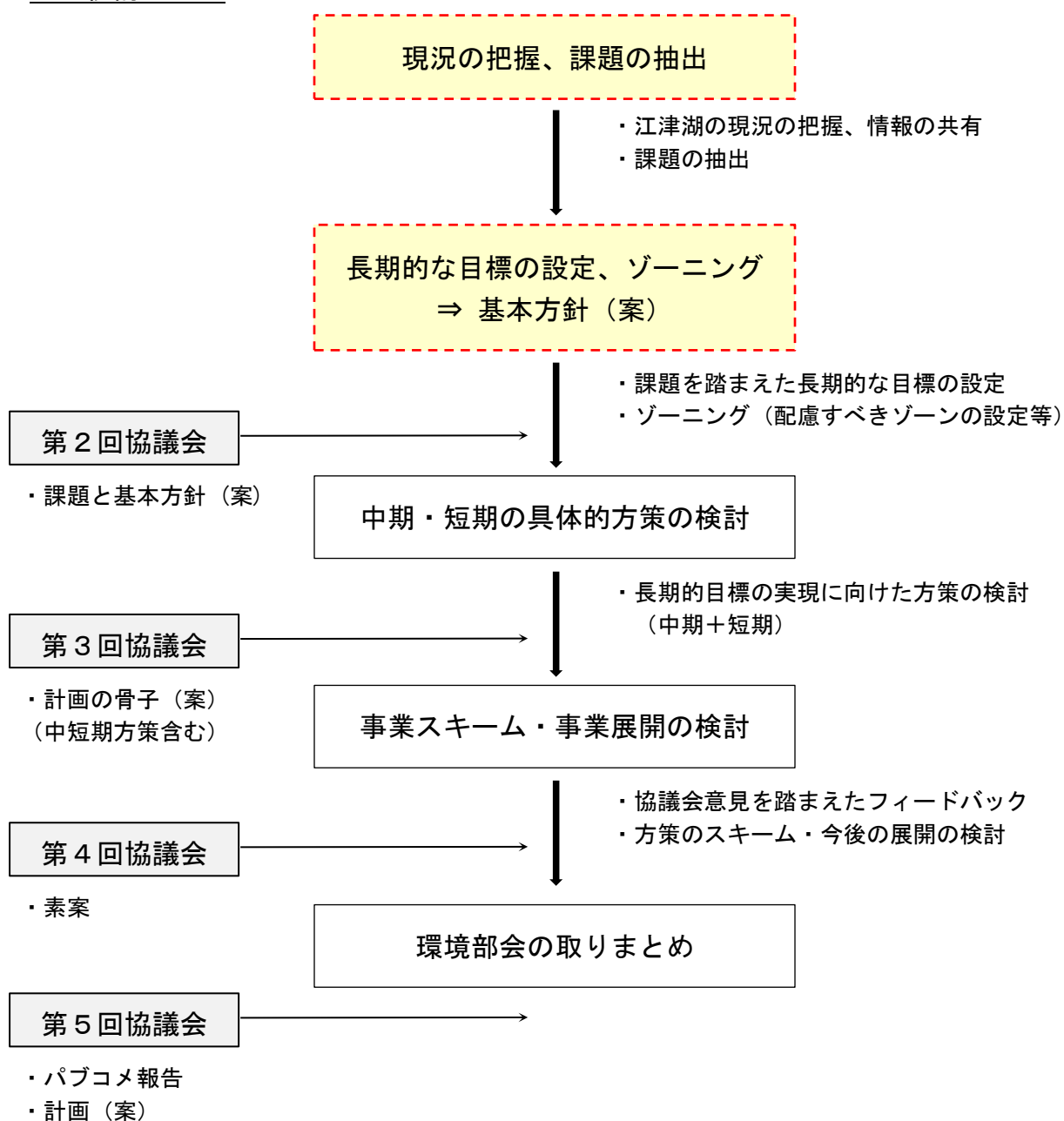


## 環境部会の意見

### 1. 環境部会での検討事項について

水前寺江津湖公園利活用・保全計画（短期・中期・長期）の策定に当たり、環境面における水前寺江津湖公園の現状や課題等を把握し、生物多様性の保全方策の検討や地下水の保全に必要な取り組みの検討、歴史・文化の魅力発信に関する検討等を行い、環境と文化の共存について検討を行うもの。

### 2. 検討フロー



### 3. 目指すべき長期的な目標・テーマ（案）

- 1) 阿蘇の自然が育む“豊かな水環境”の保全（地下水、湧水、河川）
- 2) 自然と人間活動の共生（多様な生物の棲みか、生物多様性の保全・再生、生業）
- 3) 歴史・文化の継承と活用（庭園、文学遺構、文化的景観）
- 4) 憩い・学び・集い・発信する“場”の創造

#### 長期的な目標・テーマと課題

長期的目標	課題	解決のキーセンテンス
1) 阿蘇の自然が育む“豊かな水環境”の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本地域における都市化の進展、土地利用の変化</li> <li>・長期的に見た湧水量の減少</li> <li>・地下水質の悪化（硝酸性窒素）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養林・水田湛水（地下水かん養対策の推進）、節水対策</li> <li>・水循環に関する理解</li> <li>・地下水質の保全・改善（硝酸性窒素対策の推進）</li> </ul>
2) 自然と人間活動の共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコトーンの減少</li> <li>・外来種の侵入・増加</li> <li>・希少種の消失・減少</li> <li>・人の立ち入りによる生物への影響（公園利用）</li> <li>・江津湖に関する調査の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコトーンの再生</li> <li>・外来種の駆除</li> <li>・希少種の再生（シードバンクの活用含む）</li> <li>・ゾーニング（自然と人の共存・共生・配慮）</li> <li>・生物の長期的なモニタリング調査</li> <li>・生物の生育・生息場の調査</li> <li>・生業等に関する調査</li> </ul>
3) 歴史・文化の継承と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水前寺成趣園と江津湖の一体性が乏しい</li> <li>・旧砂取細川邸庭園の保全と活用</li> <li>・公園の一律管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水前寺成趣園と江津湖の一体的活用</li> <li>・旧砂取細川邸庭園の文化財指定</li> <li>・景観コントロール</li> </ul>
4) 憩い・学び・集い・発信する“場”の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境、歴史、文化、生業等に関する情報の集積</li> <li>・江津湖の価値の発信不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルマネジメントを行うためのビクターセンターや研究センター等の設置</li> <li>・自然環境、歴史、文化、生業等に関する情報の集積や価値の発信</li> <li>・平成の名水百選「水前寺・江津湖湧水群」の魅力の発信</li> <li>・総合学習の実施、副読本の作成等</li> </ul>